

様式第5号別紙1

事業実施報告書

事業名 デイサービスを活用したこどもの居場所モデルの普及

1 事業の目的

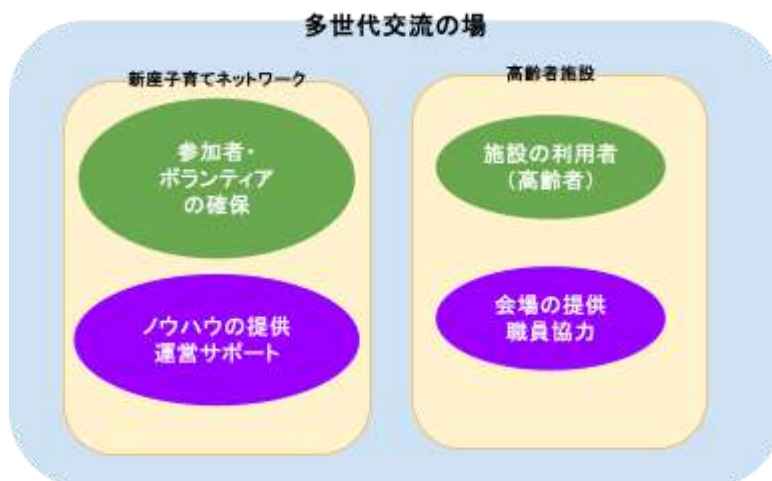
地域密着型通所介護サービス事業所(デイサービス)を活用したこどもの居場所モデルの普及に取り組みました。

当法人が市内10ヶ所に開設したこどもの居場所のうち1ヶ所で誕生したデイサービスを活用したこどもの居場所活動をモデルに、専門家等と冊子を作成し、市内の高齢者施設に、こども・若者・地域との結節点と交流の機会づくりを働きかけ、全世代参加型の地域福祉の推進事例として、拡大と普及を目的としました。

2 事業内容

(1) 事業の概要

- ・地域密着型通所介護サービス事業所(デイサービス)等を会場とした、こどもの居場所の開催を通じ、高齢者とこども、地域のボランティアの多世代交流の場の創設と普及を進めました。



(2) 事業の流れ

① 【事業提案と開催準備】7月開始

新座市内の地域密着型通所介護サービス事業所(デイサービス)へメール・電話で事業を提案。デイサービスとホームを運営している事業者より、デイサービスよりもホームの方が実施しやすいという意見は複数あったため、デイサービスに加えてホームへの提案を開始しました。

ご提案の施設	62施設
相談をした施設	18施設
実施施設	8施設

② 【大学ボランティアセンターへ事業説明と学生ボランティア協力の依頼】

訪問日	訪問先
2024.09.06(金)	立教大学新座キャンパスボランティアセンター
2024.09.10(火)	跡見学園女子大学新座キャンパス地域交流課
2024.10.01(火)	十文字学園女子大学ボランティアセンター

③ 【広報】9月開始

法人サイト内に専用ページの作成。チラシを作成し児童センターや公民館等に配架の他、集会所等で開催している子どもひろば参加者へ配布。Instagram、facebook、LINE公式アカウントで告知及び参加受付開始しました。

④ 【冊子「高齢者施設xこどもの居場所のススメ」発行】2024.09.20(金)

A4サイズ8ページ100部

高齢者施設運営者、多世代交流に関心のある方に対し、高齢者施設を会場とした多世代交流のメリットを伝えるとともに、スケジュールの一例を掲載し実施に向けてのイメージは伝わりやすくなるように作成しました。

高齢者施設への訪問時に持参した他、勉強会や活動報告会で配布しました。

内容：

- シニア世代における世代間交流の実態と関心
(第一生命経済研究所ライフデザイン研究部 副主任研究員 北村安樹子氏 寄稿)
- こどもの居場所の必要性
- 多世代交流の利点
- 高齢者とこどもの交流のメリット
- 恒例の参加者の変化
- 高齢者の力を生かす世代間交流
(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 研究員 村山陽氏寄稿)

⑤ 【「高齢者施設xこどもの居場所」勉強会】2024.10.31(木) 13:30～15:00

オンライン開催 32名参加

プログラム

1. 開会挨拶
2. レクチャー

「地域包括ケアシステムにおける多世代交流型居場所の可能性と課題」

講師：宇都宮共和大学 陣内雄次 教授

栃木保健医療生活協同組合 加藤和夏 氏

3. ふくふく子どものいえ開催の様子(動画)
4. ふくふく子どものいえ実践例 株式会社 隣家 代表 西野 裕哉 氏
5. 質疑応答
6. 事務連絡・アンケートのお願い



⑥ 【「高齢者施設 x こどもの居場所」開催実績】

	実施日時	会場	参加者数		
			こども ボランティア	高齢者	合計
1	2024.10.14(月) 10:00～12:30	SOMPOケア新座デイサービス	6	20	26
2	2024.11.04(月) 14:00～15:30	コンパスウオーク新座栄	6	30	36
3	2024.11.09(土) 12:30～15:00	そんぼの家Sひばりヶ丘北	5	30	35
4	2024.11.24(日) 13:00～15:00	新座グループホームそよ風	8	12	20
5	2024.11.30(土) 12:00～15:00	ミアヘルサ デイサービス新座	6	30	36

6	2024.12.14(土) 12:30～15:00	そんぽの家Sひばりヶ丘北	1	25	26
7	2024.12.22(日) 10:00～12:30	ミアヘルサ きずなホーム新座	8	8	16
8	2024.12.25(水) 09:30～12:00	ミモザ新座栄	中止	中止	中止
9	2024.12.26(木) 12:00～15:00	SOMPOケア新座デイサービス	8	20	28
10	2025.01.13(月) 11:00～13:30	民の家	7	7	14
11	2025.01.13(月) 12:00～15:00	SOMPOケア新座デイサービス	7	20	27
12	2025.01.25(土) 12:00～15:00	ミアヘルサ デイサービス新座	13	35	48
13	2025.01.26(日) 12:30～15:00	ミモザ新座栄	3	11	14
14	2025.02.08(土) 12:30～15:00	そんぽの家Sひばりヶ丘北	4	12	16
合 計			82	260	342



▲歓迎のタペストリー



▲こどもと高齢者が一緒にゲームをして交流しました



⑦【「高齢者施設×こどもの居場所」活動報告会】2024.01.30(木)

10:00～11:50会場:新座市民会館第一会議室／オンライン配信

参加者数:会場13名／オンライン40デバイス51名

プログラム

1. 開会挨拶
2. 基調講演
「高齢者施設×こどもの居場所」から始まる多世代交流
講師:認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
理事長 湯浅 誠 氏
3. パネルディスカッション 高齢者施設での「こどもの居場所」の可能性
4. 事務連絡
5. 閉会挨拶



⑧【冊子「高齢者施設×こどもの居場所」活動報告書発行】2024.03

A4サイズ12ページ250部

開催した施設の実施内容を当日のスケジュールと写真と含めて紹介。また、開催に至らなかった施設も含めた高齢者施設へのアンケート結果、勉強会及び活動報告会参加者、実際に高齢者施設のこどもの居場所へ参加したこどものアンケート結果を掲載。開催の有無を問わず市内の高齢者施設へ送付するほか、多世代交流に関心のある方へ配布します。

内容：

- 世代間交流の研究結果より
- 高齢者施設×こどもの居場所勉強会の開催報告
- 開催までの準備
- 実施した高齢者施設の紹介
- 高齢者施設×こどもの居場所活動報告会報告
- 高齢者施設へのアンケート結果
- こどもへのアンケート結果

(3) 連携・協力機関

第一生命経済研究所ライフデザイン研究部、東京都健康長寿医療センター研究所社会参加とヘルシーエイジング研究チーム(以上冊子「高齢者施設×こどもの居場所のススメ」寄稿)、埼玉県社会福祉協議会、埼玉県福祉部高齢者福祉課、新座市社会福祉協議会(以上広報)、SOMPOケア新座デイサービス、コンパスウォーク新座栄、そんぼの家Sひばりヶ丘北、新座グループホームそよ風、ミアヘルサデイサービス新座、ミアヘルサ きずなホーム新座、ミモザ新座栄、民の家(以上、実施協力)

3 成果及び今後の展開

【成果】

- 8つの高齢者施設にて、計13回「高齢者施設でのこどもの居場所」を実施しました。
- デイサービスに加え、グループホームにも協力を依頼したことで、より多くの高齢者の方々に参加いただける機会を創出しました。
- 高齢者施設が地域の中で若い世代と交流する機会を設けることで、地域資源として認識されるきっかけとなりました。
- 高齢者施設の利用者の方々に、普段とは違う笑顔が見られ、子どもたちと積極的に交流する様子が見られました。
- 高齢者施設の利用者の方々が子どもたちに何かを提供できる場を設けたことにより、利用者の方々が積極的に活動され、施設職員も高いモチベーションを持って活動に参加することができました。
- 参加した中学生ボランティアが、高齢者施設の仕事に興味を持つようになりました。
- 参加した小学生たちは、高齢者の方々との触れ合いを楽しんでいました。
- 4つの施設(SOMPOケア新座デイサービス、そんぼの家Sひばりヶ丘北、ミアヘルサ デイサービス新座、ミアヘルサ きずなホーム新座)での定期的な開催が決定し、多世代交流の場が拡大される見込みです。

【今後の展開】

- 定期開催が決定した4施設との連携を深化させ、各施設の特性を活かした多世代交流プログラムを共同開発し、更なる参加者の満足度向上を目指します。
- 定期開催で得られた知見と成功事例を基に、他の施設への展開を可能とする詳細なマニュアルを作成し、横展開を加速させます。
- 今回の実施結果を詳細に分析し、参加者の属性、満足度、課題等を明確にし、次期以降の事業運営に反映させることで、事業の質を向上させます。
- 秋から冬にかけての実施で懸念された感染症リスクを考慮し、春から夏にかけての開催を積極的に提案することで、より多くの施設の参加を促し、事業規模の拡大を図ります。